



nagi@azu

発行: 仙台市子育てふれあいプラザ
のびすく泉中央

- 住所: 仙台市泉区泉中央1丁目8-6
- TEL: 022-772-7341 (ひろぼ・託児)
- URL: <http://www.nobisuku-izumi.jp/>
- 携帯サイト: <http://www.nobisuku-izumi.jp/mobile/>
- 開館時間: 10:00~17:00 (託児室 16:30 まで)
- 休館日: 月曜(祝日を除く)、祝日の翌日
- 企画・編集: 一般社団法人マザー・ウイング



夏到来! 海やプール、花火にお祭りとお楽しみ行事が沢山ありますね! ホッと一息に、是非のびすくへ遊びにきてくださいね(*^^*)



~先生からのおはなし~

- 発達には、年齢や健診での平均からのズレではなく、お子さん独自のペースや特徴を理解し、尊重してあげましょう。
- 「本人はどう考えているのかな?」と常にお子さんの視点から物事をとらえましょう。本人に合ったわかりやすいかわりを持つことが大事。

♪開催報告♪

~育ちの楽校~

「発達の気になる子の子育て」

6月27日(木)にNPO法人 自閉症ピアリンクセンター ニコねっとセンター長の黒澤 哲先生をお迎えし、「発達の気になる子の子育て」というテーマで、グループ相談を行いました。「言葉が出ない」「人とのコミュニケーションがとりづらい」「こだわりが強い」など、日頃お子さんの発達について気になっていることや、どうとらえて、どう関わっていけばいいのか...について沢山の相談がありました。



●のびすく泉中央では、「うちの子、言葉が遅い?」「落ち着きがない」「集団になじめないような...」など、お子さんの発達が気になっているママとお子さんを対象とした、普段気になっていることをママ同士、おしゃべりできるサロン『そらいろの夕木』を開催しています。(お子さんは、ママの近くで遊んで過ごします。)



そらいろの夕木

☆次回開催のご案内☆
8月6日(火) 9月4日(水)
10:30~11:30
(予約などの詳細は裏面にて)

と、参加の皆さんへ伝えていました。

ペンギンが行く! A.noriko

コンコルドは、なんと超音速で飛べちゃう旅客機。

「コンコルド効果」という言葉があるのをご存知ですか?

しかし、騒音がすさまじい。維持費と燃料費もすさまじい。

コンコルドの開発計画は途中で、みんながこのまま進めたら大赤字、と気づいてしまったのに、開発を中止したら膨大なお金をかけて計画を進めてしまった。そして、世界で16機しか売れませんでした。

マジか。

子育てでも人生で一度は、子供の習い事やソーシャルゲームの課金のお金と時間と努力がムダになる、と思うことがある。それがコンコルド効果なのよ。

子育てでも人生で一度は、子供の習い事やソーシャルゲームの課金のお金と時間と努力がムダになる、と思うことがある。それがコンコルド効果なのよ。

あきらめずに頑張るのは大事なこと。でも、着せすぎで沼にはまる。

♪1才児タイム~あずきっちよ~♪

6月11日(火)「1才児タイム~あずきっちよ~」を開催しました。1才児は行動範囲も広がって好奇心いっぱい! 成長が楽しい反面、自我が芽生えはじめ、大変なことも多いですよ。イベントでは、ママのむぎの上で歌に合わせて身体を動かしたり、主任児童委員さんによる絵本の読み聞かせもあり、笑顔いっぱいでした。また、ママたちのトークタイムでは、子育ての様子をお互いに聞き合ったり、1才児同士の悩みを共感できたようでした。最後はママや子どもたちが色々なものに变身する参加型の絵本を楽しみ、笑い声がひびきました。イベントをきっかけに同じ1才児のママ同士、共感しあいながら一緒に成長していく機会になればと思っています。



~育ちの楽校~

「小児科の先生に聞いてみよう」開催します!

大切なお子さんの突然の発熱や感染症、ケガや肌トラブル。親としても初めての経験だったりすると、不安や心配が尽きないこともあると思います。今回は、現役小児科医の先生がママたちの不安に寄り添いながら、

- ◎子どもの熱について
- ◎病院受診の目安や対応
- ◎ケガについて ... などをお話ししてくれます。また、聞きたい質問などにも答えてもらえるQ&Aタイムもありますので、この機会に是非ご参加ください。

日時: 令和元年8月20日(火)
10:30~12:00
場所: のびすく泉中央 4F 活動室1
内容: 子どもの病気やその対応、事故予防について気になることを学んで相談してみましよう。
講師: 小児科医 村田 祐二先生
対象: 乳幼児の保護者 (お子さん連れOK)
参加費: 無料
定員: 16名(グループ相談になります)



◆作者プロフィール◆
泉区在住、のびすく世代のママ。のびすくママボラティアをきっかけに、2012年より本誌の4コマを担当している。